

2026年10月2日
公立大学法人東北公益文科大学

“公立化・開学25周年・国際学部新設記念” 連続講座の開催について (開催告知と当日取材のお願い)

今年度、本学では、開学25周年・公立化・国際学部新設を記念した連続講座を開催しておりますが、この度、下記の講座を開催する運びとなりました。

つきましては、貴社媒体によるイベント情報欄掲載などによる事前の開催案内及び当日の取材につきまして特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

なお、当該講座については、10月28日（水）の午後から開催予定の「情報交換会」にて詳細をご説明いたします。

記

- 1 日 時 2026年**11月28日(土)14時～16時**
- 2 場 所 **東北公益文科大学 鶴岡キャンパス 大学院ホール**
- 3 内 容 講演 「AI の時代に外国語学習は必要か？
～みずから外国語を学ぶ意味を考える～」
講師 菅原克也氏※遊佐町出身
(東京大学名誉教授・武蔵野大学名誉教授・日本比較文学会会長)
- 4 参加費 無料
- 5 申込方法 専用の申込フォームにてお申込みください (<https://x.gd/N3Jlu>)
(大学ホームページから申し込みフォームにアクセスできます。)
- 6 申込〆切 **11月20日(金)**
- 7 その他 ①詳細は別紙のチラシをご覧ください。
②先日のプレスリリースのとおり、10月6日(火)と10月14日(水)にも連続講座を開催しますので、当日の取材についてご配慮くださいますようお願いいたします(当該講座は引き続き参加者を募集しております。別紙チラシもご覧ください)。

(お問い合わせ)

法人企画課 TEL : 0234-41-1119 E-Mail : spf@koeki-u.ac.jp

AIの時代に外国語学習は必要か？

～みずから外国語を学ぶ意味を考える～

参加費
無料

AI等で自動翻訳(機械翻訳)が可能となった時代に、何を苦勞して外国語など学ぶ必要があるのか？

そのような問いを立てたとき、何が答えとなるだろうか。

「ことば」というものの性質について、庄内にゆかりのある講師を招き、私たちが普段使っている庄内弁などの日本語の例もまじえて考えてみたいと思います。



令和8年11月28日(土) 14:00～16:00 (開場13:30)
東北公益文科大学 鶴岡キャンパス 大学院ホール

講演テーマ及び講師

定員
80名
(先着)

〔テーマ〕 AIの時代に外国語学習は必要か？

～みずから外国語を学ぶ意味を考える～

〔講師〕 菅原 克也 氏(東京大学名誉教授・武蔵野大学名誉教授・日本比較文学学会会長)

プロフィール

山形県飽海郡遊佐町に生まれる。山形県立鶴岡南高等学校卒業。東京大学文学部卒業。東京大学大学院人文学研究科比較文学比較文化専門課程博士課程中退。

山形大学講師、東京工業大学助教授、東京大学教授、武蔵野大学教授を経て、現在は東北公益文科大学非常勤講師。日本比較文学学会会長。

専門は比較文学比較文化。著書に『英語と日本語のあいだ』『小説のしくみ』『読むためのレッスン』、訳書に『オリンピックと近代』『ダブル／ダブル』『冬かぞえ』他。

お申込み
お問合せ

11月20日(金)までに、申込みフォームからお申込みください。

〔お申込みURL〕 <https://x.gd/N3Jlu>

東北公益文科大学 法人企画課 TEL: 0234-41-1119

申込みフォーム



ローカル×グローバルと挑戦 ー庄内から世界へー

令和8年10月6日(火) 15:30~17:00 (開場15:00)
酒田市公益研修センター 公益ホール

基調講演

〔テーマ〕 ビジネスから考える社会課題との関わり方

〔講師〕 RAHA KENYA 代表 河野 理恵 氏

2018年にケニアへ移住し、同年アパレルブランド「RAHA KENYA」を設立。アフリカ布を用いたアパレル事業や現地体験プログラムを通じてケニアの魅力を発信中。

ストーリートーク

〔テーマ〕 出会いから始まる社会課題との向き合い方
～元看護師からアパレル社員、そしてケニアのNGO代表へ～

〔講師〕 モヨ・チルドレン・センター 代表 佐藤 南帆 氏

元看護師。2020年にケニアへ移住後、2022年よりモヨ・チルドレン・センター代表に就任。現地で恵まれない子どもたちの支援活動に奮闘。令和7年度外務大臣表彰受賞。



お申込み
お問合せ

10月1日(木)までに、申込みフォームからお申込みください。

〔お申込みURL〕 <https://x.gd/N3Jlu>

東北公益文科大学 法人企画課 TEL: 0234-41-1119

申込みフォーム





地域と大学 ～実践がつくる大学の価値～

参加費
無料

令和8年10月14日(水) 13:30～16:00 (開場13:00)
酒田市公益研修センター 公益ホール

基調講演 地域と大学～実践がつくる大学の価値～

もたに こうすけ

藻谷 浩介 氏(株式会社日本総合研究所 主席研究員)

山口県生まれの62歳。国内の全市町村と海外150ヶ国を自費で訪問し、地域特性を多面的に把握。地域振興、経済活性化、人口問題などに関して、研究・著作・講演を行う。2012年より㈱日本総合研究所主席研究員。著書にデフレの正体、里山資本主義(共にKADOKAWA)など。近著に、誰も言わない 日本の「実力」(毎日新聞出版)。2026年より熊本市中央区に自宅を建て、引き続き全国を行脚。



パネルディスカッション 地域における実践とその成果、新たな可能性

【パネリスト】

東北公益文科大学 神田 直弥 学長
同大学 呉 尚浩 教授(庄内における海岸林保全・海ごみ対策・島づくりの実践報告)
同大学 小関 久恵 准教授(酒田市日向地区における教育実践と学生活動報告)
藻谷 浩介 氏

【コーディネーター】 同大学 武田 真理子 教授

お申込み
お問合せ

10月9日(金)までに、申込みフォームからお申込みください。
【お申込みURL】 <https://x.gd/N3Jlu>
東北公益文科大学 法人企画課 TEL: 0234-41-1119

申込みフォーム

